

第374号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



相手を 見直す

あいて
みなお



カット：本多紘子

春3月とはいえ寒さがしばらく続きそうです。お寺の庭に梅や杏の花が咲き、河津桜もまもなく花開きます。皆様、お元気ででしょうか。

3月は卒業式のシーズン、若者の新たな出発の日でもありますね。

2月13日午後11時8分頃、福島県、宮城県南部で震度6強の地震があり、死者や行方不明者は出ませんでした。10県で157人の負傷者と住宅被害が福島で1410棟、宮城で186棟が一部損壊しました。10年前の東日本大震災の恐怖を思い出させた地震でしたが、幸いにも被害が少なく一安心です。今回の地震の震源は、「2011年の東日本大震災の震源域」にあり、大震災の余震だと、東京大地震研究所は発表しましたが、余震という言葉に不安がつのります。それでもテレビ放送で、避難所の体育館に新型コロナ対策の室内テントがあり、プライバシーが以前より保てるのは嬉しいことです。

嬉しいと言えば、オーストラリアのメルボルンで2月20日に、テニスの全豪オープン女子決勝があり、世界ランキング3位の大坂なおみ(23)さんが同24位のジェニファ・ブレイディ(25)さんに勝ち、2年ぶり2度目の優勝を果たしたことです。4大会制覇は昨年の全米オープンに続いて4度目です。オーストラリアも新型コロナの感染

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

流行に神経をとがらせていましたので、テニス関係者は大会の開催に悩んだようですが、徹底的に予防対策をすることで開催決定し、無事に終了出来、選手も関係者もホッとしたことでしょう。

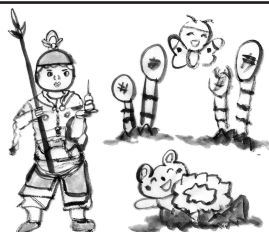
日本でも、新型コロナの世界的感染流行で昨年の東京パラ・オリンピックの開催が1年延期となりましたが、今年は開催できるのかという心配が国民の中に不安として出てきています。世界中の選手だけでなく観客が集まれば、新型コロナの感染が第4波・第5波と押し寄せて、生命の危険があるとして開催を反対しているのです。愚僧は選ばれた選手たちのことを思うと開催して欲しいと思いますが、無観客の試合では選手たちは燃えないのだろうか。悩ましいですね。

禅宗の沢庵和尚の『玲瓏集』に「栗や柿には痛みも悲しみもないというものは、人間が外から見た考えです。栗や柿の身の上には、痛みも悲しみも、自然に備わっています」とありますが、人間は自己中心に物事を考えていますので、相手のことを本当に理解できていないということを言っているのです。自分の親も、夫も、妻も、子も、自分の都合の良いように理解しているから、ときどき争いが始まるのかも知れません。新型コロナのことも本当に理解しているのだろうか。

東京大学名誉教授の山内一也さんは、「私にはコロナウイルスを敵ととらえる考え方がしっくりきません。ウイルスが地球上に現れたのは、30億年前です。一方、人類は20万年前。人間は、ウイルスが存在していた世界に現れた新参者です。ウイルスはとても多様で、陸上だけでなく海洋にも膨大な数が生息し、人間に感染して病気を引き起こすものはごく一部であり、私たちの体内で健康維持を助けるウイルスのほうが多いのです。腸内細胞のバランスを整えたり、胎児を守ったり、人間はウイルスと関わり合いながら存続してきたのです。

人間はウイルスの根絶を考えるよりも共生を考えるべきです。今のコロナも弱毒化して人間と共存しなければ存続出来ない筈です」と述べて、敵をつくらない生き方を推奨しています。合掌(奥原 曇龍)

『相性が合わないからと敵とすな 相手を
見直す勇気をもとう』 どんりゆう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・三月 九日「火曜日」 午後一時半から午後四時まで。
四月十八日「日曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり

当時、インドの強国であったマガダ国の首都ラージャガハ(王舎城)には拜火教を信じるバラモンたちが多くいました。

拜火教とは、ゾロアスター教とも呼び、紀元前6世紀頃にペルシャの預言者ゾロアスターが始めた宗教です。光の神である善神アフラー・マズダと暗黒の神である悪神アーリマンの確執から一切を説明し、ついに悪神は敗れて暗黒の中に追放されるとします。善神の象徴である火を崇拝するところから拜火教とも呼ばれました。7世紀頃にはアラブ国が興ると、イスラム教が隆盛となり拜火教は衰退していききました。

王舎城の城内を戸ごとに托鉢していたお釈迦様は、有名な拜火バラモンの家の前に立たれます。拜火バラモンは「三明を具えて、生まれが高く博識であり、理論と実践とに富んだ者ならば、私の乳飯を受けるが好い」と言う。三明とは、バラモン教の聖典としての三ヴェーダをさし、生まれが高いとは、最高のバラモン族に属することを言います。お釈迦様はそれより低い王族の出身でした。

お釈迦様は生まれや家柄で人の価値は決められない。仏教における三明は最高の智慧を得ることであるに対し、形式的にバラモンの三明の文句を呪文のように唱えることで功德があるとして、その真意を探究しないのは、内心が不浄に満ちていると反論します。

外は欺瞞におおわれて、ただ生まれを誇つても、それは真のバラモンではない。過去に對して正しく知り、未来の天界地獄への運命を辨え、社会人生の真相に達するとうい、この三明を完具した聖者こそが、これ真の三明バラモンである。と、あなたは釈迦の私に言うべきなのです。

この説法に感激した拜火バラモンは、仏教に帰依して出家し阿羅漢となりました。マガダ国での教化は続きます。合掌(奥原豊龍)

春寒し山門くぐれば経響く 一輪の梅にともしび明かり 田辺多恵子



心光寺山門前にて(元旦)

ともしび法話

春浅くいまだ風が冷たく感じられますが皆様お元気でいらつしやいますか。

3月は春のお彼岸の季節です。卒業式のシーズンでもあり、何かと気ぜわしく、また新たな出発のときでもあります。コロナに負けず、お寺の方にもお参り下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

『ともしび』を楽しみに読んでいます。年齢と共に外出が出来にくく成ってしましたが、春が待ち遠しいです。ほっこり、あったか、幸せな1年でありますように。 総社市清音 川井 節子

「凛として大寒に咲く」

この寒さに咲く。春が来てから咲く。花の一生にもいろいろ。若いときの苦労は大切です。年をとってから苦労の花は咲くよ。 総社市中原 上田 高美

「立春」も過ぎ、春をあちこちに探してみます。私も主人も年をとり、二人三脚でいたわり合い協力して、昔の暮らしを懐かしみながら、楽しく笑い過ごしています。 倉敷市黒崎 早瀬小夜子

ともしび説法

日時・三月 九日「火曜日」 午後一時半から午後四時まで。
四月 十八日「日曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

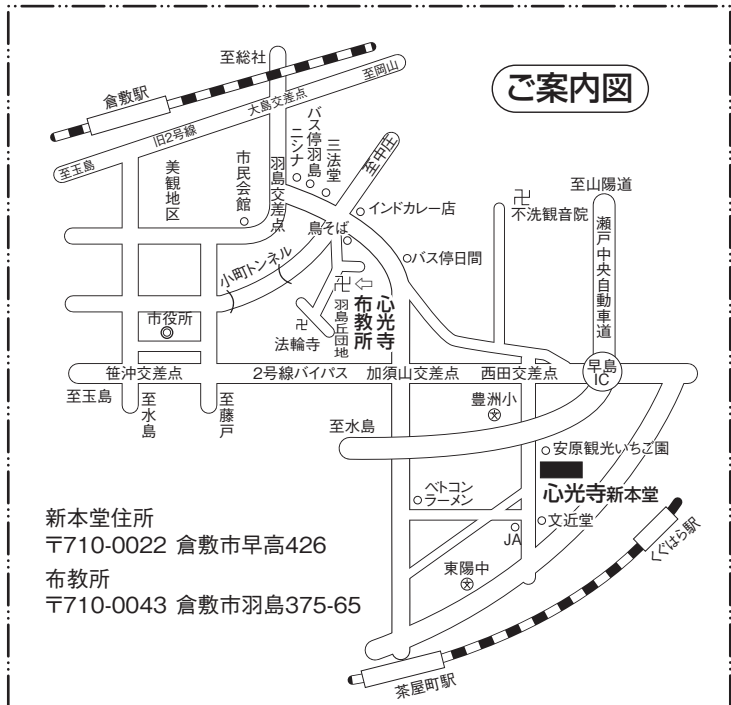
○ともしび説法・お寺の行事予定

四月 十八日(日)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

永代経法要儀式・仏教講演「あるがままに」

五月 十一日(火)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

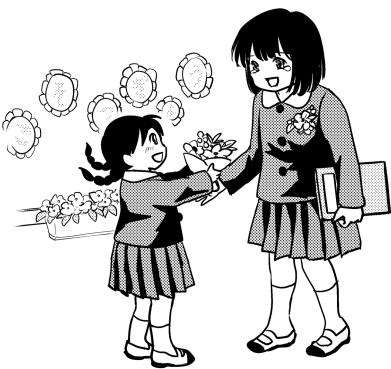
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 上中様 早島町 平松様 4千円
- 倉敷市 橋本益雄様 5千円
- 倉敷市 山形田鶴子様 尾道市 藤原様 1万円
- 倉敷市 木戸カヨ様 1万4千円 倉敷市 小山様 切手三千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

こころの詩

お雛飾りの節句が来たよ
寒さも少しやわらいで
しずかに別れのときがくる
少しばかりの不幸や挫折を
背負いながら前に進もう
そのとき そのときを大切に
人生の卒業式まで頑張ろう



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「374号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦